

味真野自治振興会地域自治振興計画

計画期間：令和7年度～令和9年度

1 地区の現状

- (1) 人口：4,330人　世帯数：1,583世帯（令和7年3月1日現在）
- (2) 地区は、日野山をはじめ唐木岳、大平山、武衛山など数多い山々に囲まれ、その麓を流れる鞍谷川、文室川（浅水川）によって形成される県内最大級の扇状地である。湧き水も多く、治左川の清流には梅花藻（バイカモ）が生育しトミヨも生息している。
- (3) 歴史的には、繼体天皇や万葉集などのゆかりの地として古代からの遺跡や戦国時代に名を馳せた武将の史跡が点在する地区であり、近世には真宗出雲路派本山毫摶寺の門前町として栄えた。
- (4) 文化面として伝承されてきた国指定の重要無形民俗文化財「越前万歳」、作業唄としてうたわれた「味真野茶もみ唄」の保存普及活動が行われている。
- (5) 地形を生かして栽培されてきたお茶、ブドウの中で、「味真野茶」について保存会として普及促進活動が行われている。また、万葉の里味真野苑や万葉菊花園、タケフナイフビレッジのある一帯では、「あじまの万葉まつり」が開催され毎年1万人以上の来場者でぎわっている。

2 地区の課題

- (1) 誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりをどう展開していくか
- (2) 地域で誇りをもって住み続けるための学びの場、憩いの場をいかにつくるか
- (3) 数多くの歴史的文化的資源をまちづくりにどう活かすか
- (4) 地域活動への参加をどう促すか

3 将来像

「豊かな自然と歴史・文化ただよう、誇りと愛着がもてる味真野」

- (1) 住んでいる人が誇りをもって生き生きとしている地域
- (2) 人のふれあいを大切にするやすらぎのある地域
- (3) 豊かな自然環境が守られ、安全で安心して住み続けることができる地域
- (4) 歴史、文化を大切にし、つないでいく地域
- (5) 持続可能な地域コミュニティの再生

4 事業実施計画（別表）

味真野自治振興会地域自治振興計画体系表(令和7年度～9年度)

「豊かな自然と歴史・文化ただよう、誇りと愛着がもてる味真野」

地区の将来像	地区の基本方針	担当部門	事業名
住んでいる人が誇りをもつて活き活きとしている地域	地域住民のふれあい交流促進による強い絆のまちづくり	地域創生部	地域ふれあい事業
		実行委員会	(仮称)味真野ふるさとまつり事業
	地域住民が主役の明るいまちづくり	地域部	地域施設整備支援事業
人のふれあいを大切にするやすらぎのある地域	子どもたちや若者を健やかに育てるまちづくり	青少年育成部	育成教育事業
			二十歳を祝う会事業
	一人一人が健康でコミュニケーションができるふれあいのまちづくり	健康推進部	健康まつり事業
			地域健康力UP推進事業
			地区スポーツ事業
	支えあい心やすらぐ福祉のまちづくり	社会福祉部	見守り活動事業
			ふれあい交流事業
			地域福祉推進事業
			生活支援推進事業
豊かな自然環境が守られ、安全で安心して住み続けることができる地域	安全で安心な地域をみんなでつくるまちづくり	安全防災部	安全・防災環境整備事業
			防災活動推進事業
			安全安心啓発事業
	花と緑にふれあい、美しい自然環境を守るまちづくり	地域創生部	ふるさと環境保全事業
			武衛山登山道整備事業
		地域部	雪どけクリーン大作戦支援事業
			河川一斎清掃支援事業
歴史、文化を大切にし、つないでいく地域	地区の文化に触れ、郷土への誇りと愛をはぐくみ、地域の発展に寄与する人づくり	文化教養部	伝統文化振興事業
			地域文化振興事業
	万葉の薫りただようまちづくり	歴史観光部	万葉の味真野・情報発信事業
			味真野観光施設整備事業
		実行委員会	あじまの万葉まつり事業
持続可能な地域コミュニティの再生	組織体制の強化 運営負担の軽減	実行委員会	(仮称)味真野ふるさとまつり事業
		事務局	自治振興会事務局事務
	社会教育事業の充実と地域の個性を生かしたまちづくり	公民館事業部	社会教育講座
	自治振興会の円滑な運営	事務局	地区自治基本事務事業
			自治振興会事務局事務